別 紙 2

# ダニによる感染症（ダニ媒介性疾患）について

新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課

## 1　ダニ媒介性疾患とは

ツツガムシ類やマダニ類などの山林や草むらに生息するダニに刺されると、つつが虫病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（ＳＦＴＳ）、ライム病、回帰熱、ダニ媒介性脳炎などの感染症にかかる可能性があります。河川周辺、山林、草地のほか、自宅の近くで刺されたという報告もあり、注意が必要です。

## 2　ダニ媒介性疾患の主なもの

○つつが虫病：つつが虫病リケッチアを保有するダニの幼虫（ツツガムシ）【大きさ：約 0.3mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は１～２週間で、高熱、発疹を伴って発症します。治療は抗菌薬による治療を行います。通常、抗菌薬が速やかに効きますが、治療が遅れると重症化する場合があるので、早期発見・早期治療が重要です。

○日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニ【大きさ約３mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は２～８日で、高熱、発疹を伴って発症します。治療は抗菌薬による治療を行います。治療が遅れると重症化する場合があるので、早期発見・早期治療が重要です。

○ＳＦＴＳ：ＳＦＴＳウイルスを保有するマダニ【大きさ約３mm】に刺されて起こる感染症です。潜伏期は６日～２週間で、発熱、食欲低下、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などで重症化し、死亡することもあります。治療は基本的に対症療法が行われますが、2024 年６月に抗ウイルス薬（ファビピラビル）が承認されており、病状の進行が予期される場合には使用が検討されます。

## 3　予防方法

農作業、山菜採り、庭仕事などで、山林や草地などに入るときは、次のことに注意しましょう。

（１）長袖、長ズボン、長靴を着用し、肌をできるだけ出さないようにする。
（２）衣類を草むらに置いたり、草むらで休息や用便をしない。
（３）防虫スプレーを使用する。
（４）山野での作業後は入浴するなどして、吸血前のダニを皮膚から洗い流す。
（５）ダニが体についていないか点検する。

・ダニに刺されている場合は早期に除去することが重要です。早ければ病原体が体内に注入されることを防げる場合もありますので、皮膚科で除去してもらうことをお勧めします。

＊自分でダニの体をつまんで引き抜こうとすると、病原体を自分の体内に注入してしまうことや、ダニの頭部が皮膚に残ってしまうことがあります。また、マダニに刺された後、数週間は体調の変化に注意し、発熱などの症状がみられた場合も医療機関を受診しましょう。

## 4　届出状況

| | | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 | 令和７年 | 令和８年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| つつが虫病 | 新潟県 | 4 | 6 | 4 | 6 | 2 |
| | 全国 | 493 | 104 | 349 | 290 | 69 |
| 日本紅斑熱 | 新潟県 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 全国 | 460 | 144 | 505 | 674 | 579 |
| 重症熱性血小板減少症候群(SFTS) | 新潟県 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 全国 | 118 | 83 | 120 | 191 | 161 |

令和８年 11 月 5 日現在（全国は令和８年 10 月 28 日現在）

【参考：啓発ツール・リーフレット等】

・厚生労働省ホームページ「ダニ媒介感染症」（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html）